

神学部情報を

SNSで日々発信中です！



■神学部Instagram

<https://www.instagram.com/kgtheologica/>



■神学部Facebook

<https://www.facebook.com/KGtheologica/>

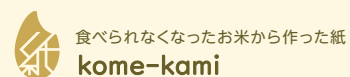


■神学部MOVIE

https://www.kwansei.ac.jp/s_theology/message/movie/



入学センター TEL.0798-54-6135
神 学 部 TEL.0798-54-6200
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
神学部ホームページ https://www.kwansei.ac.jp/s_theology/



発行：2025年7月 / 2000



神 学 部

School of Theology
～ Veritas liberabit vos ～

キリスト教伝道者コース／キリスト教思想・文化コース



キリスト教への理解を深め、 世界・社会・ヒトの本質を探る



神学部は1889年、関西学院の創立とともに開設された関西学院大学で最も古い歴史ある学部です。

「キリスト教の伝道に従事すべく選ばれた者を鍛錬する」ことを理念とし（関西学院創立時制定の「憲法」第二款「目的」）、神学研究の発展に努め、また伝道者の養成ならびに広くキリスト教の思想および文化の理解を求めて、キリスト教神学の基礎と専門領域双方において教育を行います。その目標とするところは、人間を自然と社会との関わりにおいて考察し、そこにある問題を探り出し、キリストの福音に照らして今日における生の意味やその規範を模索しつつ、そこで見出したものを他者に伝え、社会に仕える人材を育成することにあります。



神学部概要



神学部は伝道者養成を目指す「キリスト教伝道者コース」とキリスト教を思想、文化、社会、人間といった切り口で学ぶ「キリスト教思想・文化コース」の2つのコースに分かれています。

もっと見る！



キリスト教伝道者コース

「伝道者養成」という神学教育の伝統を受け継ぐ本コースは、学術的な研究を深めるとともに、より実践的なカリキュラムを通して、キリスト教の伝道者としての深い専門知識を身につけることを目指しています。本コース並びに大学院を修了した者は、神学部に教会の教職養成を委嘱している日本基督教団の補教師検定試験における一部試験免除を受けることができます。
※本コース受験には「教会推薦書」が必要です。

キリスト教思想・文化コース

本コースでは、聖書などを通じてキリスト教という世界的な思想を学び、現代社会におけるキリスト教の役割や可能性を考察。総合大学の利点を生かし、学問領域の枠を越えて、文化やメディア、政治、経済など現代社会のさまざまな事象・課題をキリスト教の視点から解明します。本コースの卒業生たちは企業やNPOなどさまざまな分野で活躍しています。

神学部の学び



現代的なアプローチも取り入れ4つの領域からキリスト教を理解する

神学部では、「聖書学」「歴史神学」「組織神学」「実践神学」の4つの領域からキリスト教への理解を深めます。神学部といえば聖書を学ぶ、というイメージがあるかもしれませんが、もちろん神学部では聖書の研究をしますが、しかしそれだけではありません。様々な人物の思想・著作や活動等の研究を含む歴史、キリスト教の根本的な考え方・立場である教理、礼拝や祈禱などの実践、キリスト教音楽、美術や建築等、実にさまざまな側面からキリスト教的見地に基づいて考察を行っています。

もっと見る！

神学部カリキュラム等
詳細はコチラ



神学部教員一覧はコチラ



伝統的キリスト教神学 によるアプローチ

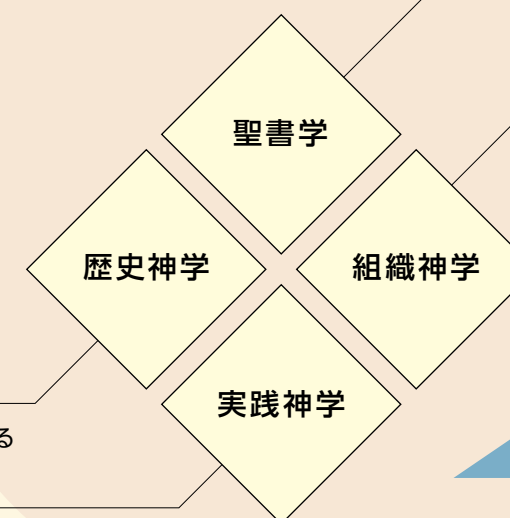
他分野との対話・交流

総合大学の中の神学部
文学部 社会学部
法学部 経済学部
商学部 人間福祉学部
国際学部 教育学部
総合政策学部 理学部
工学部 生命環境学部
建築学部

キリスト教の歴史・文化に関わる
テーマ全般について研究する

キリスト教が現代社会に関わるために
必要な理論・方法論を研究する

神学部



キリスト教の正典である
聖書を研究し、
その現代的意味を考察する

キリスト教信仰の内容を
“思想”として客観的に省察する

現代的課題の考察

生命倫理
スピリチュアル・ケア
環境問題
人権問題
平和・紛争…

現代的、文化・社会的な
手法によるアプローチ

私達みな神学部卒業生！ 神学部生は卒業後、さまざまな業界で活躍しています。神学部卒業生からのメッセージを紹介します！



●2023年 卒業
●株式会社
ファースト
リテイリング

小牟田 裕女さん

神学部では奉仕する精神を学び、教会やボランティア活動でそれらを体現出来る機会を得て、そこから人とのつながり、ぬくもりを多く感じられました。そんな経験を出来たことが1番の財産です。私は全世界のいろんな人々に「服」という視点から「喜び」を届けたいと思っています。神学部での経験がなければ今の価値観はなかったもので、いろんな人々に出会える神学部を卒業出来てよかったです。一般企業に就職するイメージはあまり湧かないかもしれませんが、この4年間がないと今の夢もないと感じます。神学部で夢を見つけてみませんか？



●2009年 卒業
●株式会社竹中工務店
開発計画本部
PPP/PFI推進室

福田 健吾さん

現在はMICE施設やスタジアムなどの公共施設を対象に、地方自治体と連携しPFIという手法を用いた事業を通して持続可能な「まちづくり」を支援しています。数百億円規模の建設費をプロジェクトファイナンスという仕組みで資金調達するなど、さまざまな仕事に取り組むなかで、課題にも直面します。その際、多方面の関係者を主体的に巻き込み、協働の意識を醸成し課題解決する力が必要です。これは、ゼミでの卒業論文に向け教授との対話や繋がりを深めて取り組んだ経験が生かされています。また、牧師になった同期の友人や所属したアメリカンフットボール部の試合前に聖書朗読やお祈りをしてくださっていた恩師の教会に今でも出向くことがあります。礼拝を通して新たな視点や着想が得られるのは、卒業生の醍醐味だと思います。



●1985年 卒業
●医療法人鶯友会
牧病院 医師
診療部長・心療内科部長

宮川 眞一さん

徳島大学医学部を経て、神学部在学中に訪れたバングラデシュにJOCS(日本キリスト教海外医療協力会)から派遣され7年近く、地域医療の仕事に従事しておりました。現在は地元病院で診療部長・心療内科部長として臨床医を続け、医学部や看護学部で海外協力の講義を持ちつつ、JOCSやJAFSを通したNGO活動にも従事しております。神学部は総合大学の一学部である利点も大きく、多面的な探求の可能な場であり、医療系の世界でも通用するコミュニティースキルを身につけられる場でもあります。NGOや医療界も後輩皆さまの御活躍をお待ちしております。



●2012年 卒業
●株式会社LIXIL

田中 遼さん

私が神学部へ入学した際は知らない世界を経験してみようと思い飛び込むような心境でしたが、結果的に人生において学部での学びは大変重要なものになりました。会社ではダイバーシティ&インクルージョン(多様性を認め、受け入れて活かす取り組み)の企業文化を醸成する活動に参画したり、営業職においても、自らや他者、生き方について学ぶことができた大学での経験が活かしています。そしてなにより妻と出会えたことが1番良かったです。



●2013年 卒業
●西日本旅客鉄道株式会社
近畿統括本部
奈良電車区(運転士)

濱田 一成さん

神学部では、スクールモットーでもある「Mastery for Service(奉仕のための練達)」の実現に向けて、世界の様々な諸宗教を歴史的、文化的に学び、それが現代のどこで深く関わっているかを考察し、理解する機会が多くありました。また体育会ボート部主務、学生連盟での活動を経験し、チームワークの重要性を学びました。現在、「運転士」というお客様の尊い命をお預かりする仕事をしていますが、お客様と一緒に乗務する車掌に安心していただくために出来ることは何か、神学部での学びを原点に、主体的に考えつづ環境を整え、職責を全うしています。お客様、特に小さなお子様から笑顔でお見送りされたときは、世間から注目されているのと同時に、この仕事をしてよかったと感じます。



●2016年 卒業
●大阪女学院
中学校・高等学校
文系主任

星 匡浩さん

大学までキリスト教に関わりがなかった私にとって、神学部での毎日は学びと発見の連続でした。教会にも導かれ、キリスト教に生きる牧師や日々祈る信徒の姿も目の当たりにしました。そこで聖書の「私が弱いときにこそ、私は強い」という言葉の意味を体感し、励まされ、完璧を目指す自分から解放されたように思います。また、私は入学前に東日本大震災を経験しましたが、キリスト教の学びを通して、人間は人生で直面する不条理とどう向き合い、どのように平和を希求していくのかを考えるきっかけになりました。そして、4年次の実践神学ゼミでは将来のキリスト教教育の可能性について研究しました。これらの経験は自分に与えられたミッション(使命)とは何かを考えさせ、平和を作り出す人間の教育に携わるよう導いてくれたように思います。現在は自分がキリスト教を学ぶ中で与えられたものを生徒に伝えられる自身の仕事に喜びを感じ、感謝を持って人生を歩んでいます。

●2011年 卒業
●日本基督教団
多度津教会牧師
●社会福祉法人愛光福祉会
愛光保育園 理事長・園長

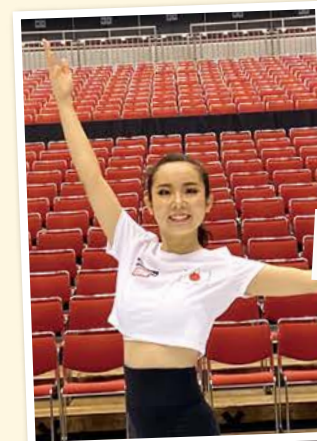
阪口 新さん

“critical thinking(批判的思考)”私なりに解釈すると“正しく疑う力”です。神学部では「キリスト教」を多様な視点から論じます。信仰を一度自分の主観から切り離して、批判的に論じなければならない場面もありました。大きな葛藤もありましたが、最終的には「どれほど疑っても信頼に足るものがこの世界にはある」という確信を得られました。このことは牧師としてはもちろん、一人の人間として生きていくうえで今も大きな力になっています。



●2020年 卒業
●Feld Entertainment, Inc.

芳野 奈々子さん



現在Disney On Iceの日本人スケーターとして、世界各国から集まった約50名のキャストと共にワールドツアーを行っています。

様々な文化を持つキャストの中には、宗教上食べられないものがある人や、お祈りの時間を大切にしている人も多くいます。そのような人への配慮は、色々な宗教的背景を持つ学生がいた神学部での学びがあったからこそ、直ぐに適応できたと感じています。また神学部は他の学部と違い、少人数なので、学年関係なく交友関係を深めることができます。卒業後も、日本公演を観に来てくれる先生方や先輩方、そして打ち解け合える親友に出会えたことは神学部での一番の財産だと思っています。



●2014年 卒業
●鎮西学院大学
宗教主事

神田 道隆さん

神学部では「本当の勉強(学問)」を知りました。高校生までの勉強は覚えることが中心です。神学部では「問い」をもち、先生方や友人先輩たちと議論し一緒に悩み考え、結果「私はこう考える」という自分の意見を持つ大切さを学びました。そして「ああこれが勉強か…、勉強っておもしろいな。」と感じました。いま私は長崎の大学と高校で牧師兼教員をしています。神学部で学んだことを活かし、学生に「私はこう考える」を持ってもらおうと奮闘しています。

●2006年 卒業
●青山学院
横浜英和小学校

桐藤 飛鳥さん

宗教哲学のゼミにて、文学の中に見るキリスト教思想を研究しました。少人数制だからこそ、先生方の人柄に触れ、学ぶことの楽しさをダイレクトに教えていただけます。この学部での学びを通して、自分がどのように生きるか、人生の土台をどこに据えるかをはっきりさせることができました。神学部ならではの「宗教」の教員免許も取得できます。今は聖書科教諭として、幼い子どもたちに聖書を教える充実した日々を送っています。

●2009年 卒業
●日本基督教団
境南教会牧師

貴田 直樹さん

私は関学の副専攻プログラム(マルチプル・ディグリー)の制度を利用して5年で神学部と文学部総合心理科学科を卒業しました。神学と心理学は高校生の時から学びたかったことでした。現在は両学部で学んだことを活かして教会の牧師と同時に保育専門学校で講師として保育者・教育者の養成に携わっています。また両学部に在籍し、宗教科と英語科の教員免許も取得できました。挑戦する気持ちを支え励まし、そして達成させてくれた神学部に感謝しています。

●2012年 卒業
●すやま農園

陶山 真固さん

私は、香川県の豊島で「安心・安全で美味しいいちご」を求めて夫婦で農園を営んでいます。前職の教員を辞めるときは、とても迷いました。私の背中を押したのは、学生時代に先生方との雑談から得た学びでした。神学部は学部生の人数が少なく、授業の合間に人生経験豊富な先生方から様々な話を聞く機会がありました。そこで、様々な視点、多様な人生観など広い視野で物事を見るために必要な学びを得ました。農家へと導いてくれた神学部での学びに感謝しています。

●2021年 卒業
●公益財団法人
福武財団 美術館運営・
地域支援部

上田 啓人さん

私自身特定の信仰はもっていませんが、キリスト教という視点から、歴史、社会、文化など幅広い分野での学びを得ることができました。神学部での4年間は、多様な価値観や解釈が認められる現代社会において、「自分はどのように在りたいか」ということを見つめ直す有意義な時間でした。また、少人数の学部ですが、さまざまな背景を持つ学生が集まるので、お互いの刺激にもなり、その点も自分にとっては非常に良かったと思います。

●2021年 卒業
●日本オラル
株式会社

比嘉 瑛仁さん

神学部では、宗教を通じた歴史や芸術文化を学びました。それと並行して、マルチプル・ディグリーとして商学部でマーケティングや情報通信産業を学び、学位も取得しました。学びの根底には、社会はどのような仕組みでできているかという関心があり、宗教という切り口を通じて世界を見る視点を獲得することができました。また、宗教間や世代における価値観の違いから起こる課題に対する姿勢こそ、神学部での学びであり今後の人生で生きる学びです。

関学神学部で国際的視野を広げる！

神学部では、国際交流のなかで多角的な視点を養うとともに、国際社会で活躍するために必要なコミュニケーションスキルなども身に付けることができます。

Mission in Dialogue A・B

神学部と協定を結んでいる韓国の監理教神学大学校(MTU)の学生と共に、現代のキリスト教宣教について学ぶプログラムを実施しています。毎年度、事前講義等を経て日本または韓国で5日間程度のフィールドワークを行い、現地での講義や教会等の見学・調査を通じて、日本と他国の現状を比較しレポートにまとめます。2023年度は関学大から8名、MTUからは5名の参加がありました。学生同士の交流を通じて異なる文化や価値観に触れつつ、国際的な対話を実践できるのが魅力です。



韓国にて 伝統衣装を着て集合写真



授業はオンラインを併用して実施することも

Theology in Dialogue



日本キリスト教協議会宗教研究所(NCC宗教研究所)の協力のもと、ドイツ及びスイスからの留学生との学術交流プログラムとして開催しています。主に宗教間対話をテーマに、キリスト教以外の宗教、その言葉、人々、実践との対話の歴史、目的、手段、関連性について、個人的かつ神学的に考察します。毎年度、関学大生と留学生それぞれ5名程度が受講しています。授業は英語で行われます。



カナダのマウント・アリソン大学との交流会を実施

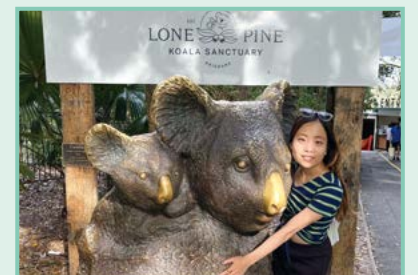
神学部では上記のプログラム以外にもさまざまな形で国際交流の機会を設けています。例えば、2023年5月には、関西学院大学の古くからの協定校であるカナダのマウント・アリソン大学から11名の学生と教職員2名が西宮上ヶ原キャンパスを訪れ、日本の宗教などをテーマに神学部生約30名と交流しました。交流会では、岩野祐介教授が「History and Present State of Japanese Christianity」と題して日本におけるキリスト教の歴史と現状について英語で講義したのち、両大学の学生がグループに分かれて議論しました。学生達は英語でのディスカッションを通して大いに盛り上がり、両大学の親睦を深める良い機会となりました。



グループディスカッションの様子

オーストラリア・クイーンズランド大学へ中期留学／園田 百望さん(神学部3年生)

高校時代から留学に憧れていた私は、3年生の春学期に関学の中期留学プログラムでオーストラリア・クイーンズランド大学へ4ヶ月留学しました。現地の大学では英語コースを受講。マカオ、タイ、中国、韓国などの国の留学生と共に学びました。大学ではダンスクラブに所属したり、各種のボランティア活動にも参加しました。ホストファミリーをはじめ、さまざまな国の友達ができました。ブリスベンやシドニーでは教会を訪問し、その規模の大きさに驚きました。また、神学部の授業で学んだことのある大聖堂を実際に目にし、もっとキリスト教建築について学びたいと思うようになりました。留学での経験を今後の神学部での学びにも生かしていきたいです。



オーストラリア・コアラ保護区の入口にて